

出店型研修会

出店型研修会は上越版のセレクト研修です。8月31日(木)、10月12日(木)、10月26日(木)の3回、上越教育大学教職大学院の先生を講師として、研修会を行いました。気軽に参加でき、かつ大学会員から専門的知見のもと研修を行うことができました。大学会員が研究されている内容について、参加者でお互いの考えを伝え合いました。参加者は、現状を振り返り、これからの教員としての在り方について考えるよい機会となりました。



【出店型研修会の様子】

<p>病気休職者20代が多い 若手の方がストレス反応が高い 仕事は質的に難しい</p> <p>若手教師への『不適切な指導』 最もストレスに影響しているのは、教師同士 >子どもや保護者 「人を育てる仕事」のはずなのに...</p> <p>教師バーンアウト ・情緒的消耗感 ・脱人格化(子どもと関わらない、没個性で呼ぶなど) ・個人的達成感の後退</p> <p>↓ 自己評価の低下、成功感の低下、自己感の低下 = 勇気がくじかれた状態</p> <p style="color: red;">SoSoのやり方</p>	<p>勇気づけは「横」の関係で成り立つ 若手教師の「味方」となる行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾聴する ・発言権の保障 ・関心をもつ ・友好的に接する <p>若手教師を「勇気づける」行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貢献に注目 ・過程を重視する ・判断を委ねる ・常に味方である <p>大人に対しても子どもに対しても やることは大きく変わらない</p>
---	--

<p>「読みの交流」を行っている中で注目していること</p> <p>? 国語における◎(この時間の課題)とまどめ? ? 主体的・対話的・深い学び?</p> <p>問いづくり⇔良質な問いづくり 読み①情報駆動→②物語内容駆動→③要点駆動 参加者スタンス 見物人スタンス</p> <p>↑ ・結果性方略 ・物語表層方略 ・交流方略</p> <p>☆五要件に沿った多様な読みが出る問い(教師が作る) →読みが違う=子どもたちなりに読みに意味づけ ☆語り収め(物語の最後)を問う →再読の必要性</p>	<p>小5 世界でいちばんやかましい音 問い) 「別に悪気はなかったのですが」と 繰り返して語ったのはなぜか ↓ 「語り」に関する問い = 要点駆動の読みにつながる</p> <p>「語り」から授業をつくる</p> <p>「語り」を問う意義を考えたい</p>
---	--

【出店型研修会の記録】